

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 商業・サービス産業支援課
 担当名: 総務・サービス産業担当
 内線: 7983 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B10	サービス産業事業者ICT・AI活用支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	サービス産業支援事業費			
事業期間	平成28年度～令和5年度	根拠法令	なし			針路分野施策	11 稼げる力の向上 1103 商業・サービス産業の育成	SDGsゴール	8, 9	SDGsターゲット	8-1, 8-2, 8-3, 9-2
1 事業の概要 サービス産業の生産性向上に有効なICTを活用した業務効率化やマーケティング、販路拡大等の取組を支援する。 ア DXセミナーの開催 事務費の節減を図ったこと及び契約差金が生じたことによる委託料の減 △587千円 イ ICT活用コーディネーターによるDX推進支援 事務費の節減を図ったことによる減 △60千円 ウ 埼玉県キャッシュレス推進協議会の開催 事務費の節減を図ったことによる減 △176千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア DXセミナーの開催 7回 1,300千円 (ア) DX普及セミナー 2回 (イ) DX実践セミナー 5回 イ ICT活用コーディネーターによるDX推進支援 180件 5,160千円 ウ 埼玉県キャッシュレス推進協議会の開催 2回 191千円 (2) 事業計画 デジタルツールを活用する機会の提供、ECを中心としたDXへの取組支援、キャッシュレス対応支援 (3) 事業効果 DXセミナーやICT活用コーディネーターによる伴走支援を実施することで、デジタル活用やDXを推進し、県内サービス産業の生産性向上に寄与する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 公社ICT活用コーディネーター、よろず支援拠点、商工会・商工会議所、DX推進員、金融機関、専門家、有識者、民間ITベンダー等との連携を強化し、支援の拡充を図る。 (5) 補正予算の概要 ・事務費の節減を図ったことによる減 ・契約差金が生じたことによるチラシデザイン委託料の減 ・講師謝金が見込みを下回ったことによる報償費の減							
2 事業主体及び負担区分 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円											
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額		
		国庫支出金									
決定額	△823	△823						0	5,828		
現計額	6,651	6,651						0			

事業内訳書

事業名	サービス産業事業者 ICT・AI 活用支援事業		
単位事業名	DX セミナーの開催	予算額	△ 587千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△140	—	講師謝金の減 △3.5人分
旅費	△18	—	セミナー企画・運営の減 △9回分
需用費	△69	—	事務費の節減による消耗品費の減
役務費	△100	—	通信運搬費の減
委託料	△204	—	契約差金が生じたことによるチラシデザイン業務委託の減
使用料及び賃借料	△56	—	会議室使用料の減 △3回分
合計	△587	—	

単位事業名	ICT 活用コーディネーターによる DX 推進支援	予算額	△ 60千円
-------	---------------------------	-----	--------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△60	—	DX 推進支援同行の減 △30回分

単位事業名	ICT活用コーディネーターによるDX推進支援	予算額	△ 60千円
-------	------------------------	-----	--------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△60	—	

単位事業名	埼玉県キャッシュレス推進協議会の開催	予算額	△ 176千円
-------	--------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△28	—	埼玉県キャッシュレス推進協議会等の減 △28回分
需用費	△123	—	事務費の節減による消耗品費の減
使用料及び賃借料	△25	—	会議室使用料の減 △2回分
合計	△176	—	